

# 自然と生き物の色々な話

～足跡みつけ!～雪に残る足跡を見てみよう～

1月になり、兵庫県の日本海側の学校や山あいの学校では本格的に雪が降り出しているところだと思えます。

朝、雪が積もったところにこのような足跡が残っています。

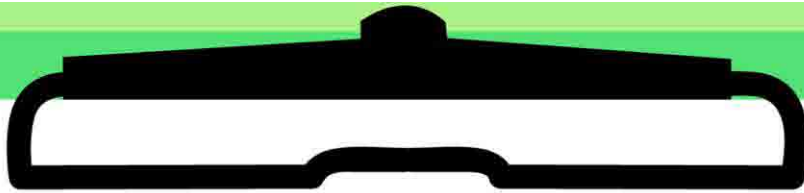


写真はネズミ(鼠)の足跡です。ネズミは跳ぶように歩くため、このようなとびとびになった足跡を残します。

他に良く見かける足跡としてはイヌ(犬)、ネコ(猫)、シカ(鹿)、イノシシ(猪)、タヌキ(狸)、キツネ(狐)、ウサギ(兎)、それからヒト(人)でしょうか。

体重が軽いタヌキやキツネ、ネズミといった動物の足跡は、普段見ることはありませんが、雪が積もるとはっきり見られます。

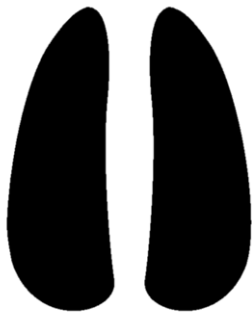




# 動物の足跡を探してみよう!!

下の図は兵庫県に住む野生の動物の足跡の図です。

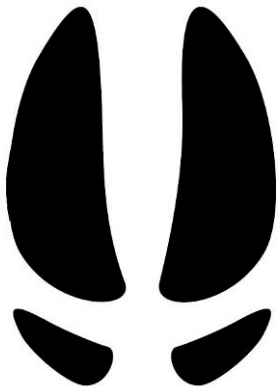
雪が降ったらこの足跡がお家や学校の側にはないか探して見ましょう!!



## ・シカ(鹿)の足跡

イヌ、ネコ、ヒト以外では1番よく見る足跡。

雪の時以外でも泥地や田んぼ、ぬかるんだ校庭、砂浜など、足跡が残りやすいところならどこでも見かける。



## ・イノシシ(猪)の足跡

山あいの場所で足跡を見つけることが多い。

小さな2つの蹄の跡はほとんど見られないため、シカの足跡と同じように見えることが多い。

シカよりも蹄の分かれ方がV字上になっているため、蹄と蹄の間の距離で足跡がイノシシかシカか見分けられる。



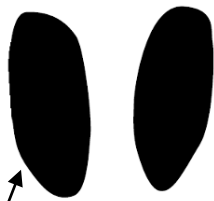
## ・タヌキ(狸)の足跡

イヌ、ネコ、キツネ、タヌキの4種類の動物の足跡は細かい違いがあるだけで見た目はほとんど一緒。

足跡だけでは区別がつかないので足跡の並び方の違いで見分ける。

タヌキは足跡が2個ごとに左右二列に並ぶ形をしている。

これがキツネだと足跡が1個ずつ一列に並ぶ。



## ・ウサギ(兎)の足跡

雪の時以外にはほとんど見られない足跡。

ウサギは跳び箱を跳ぶときと同じように、前足を支えにして後ろ足

で跳ぶように歩くため、小さく丸い足跡が前足で大きく細長い

足跡が後ろ足の足跡である。

